

南国バイパス沿いのポイ捨て缶を拾う青年団の皆さん



4000人が参加し一斉清掃

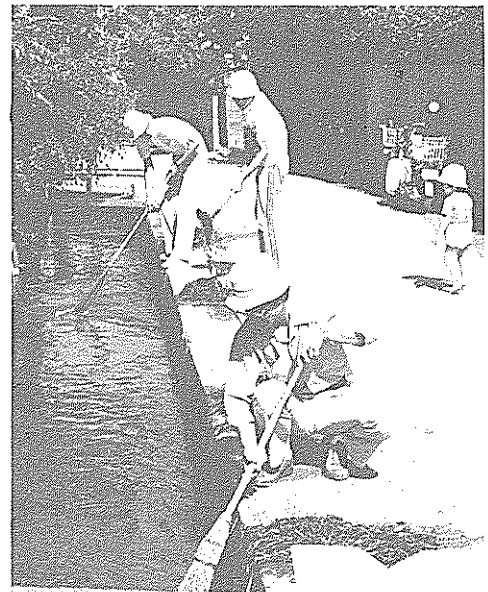
ポイ捨て缶などたくさん

環境美化行動の日の六月九日、恒例の市内一斉清掃が行われ、各地区で早朝から清掃作業に取り組みました。
この日は、各地区会、老人クラブ、婦人会、子供会、青年団などの団体が積極的に参加。道路沿いのポイ捨て缶、ビン類の回収、河川や海岸など、日ごろ清掃する機会の少ない場所を、地域住民が一致協力し、泥まみれになりながら清掃に汗を流しました。
市からは、各課長がトラックに分乗しごみの収集に回りました。この日集まったごみは約百十五トンのぼり、多くはポイ捨て缶やびんなど。

今年三月、川上一斉清掃をした舟入川のように、河川へのポイ捨てや不法投棄は後を絶たず、また海岸地域のごみ問題も深刻となつていきます。
これら原因はやはり、市民一人一人の美化意識の低さが大きな問題ではないでしょうか。「自分一人くらいが捨てても……」と、安易な考えから、大きなごみの山が生まれてきます。美化意識をしっかりと持って、お互いが注意し合っていくまでも美しい自然を守っていきましょう。



川に入ってゴミ集め（上末松）



土やごみを上げきれいな川に（大桶）



婦人も協力し溝さらえ（久礼田）